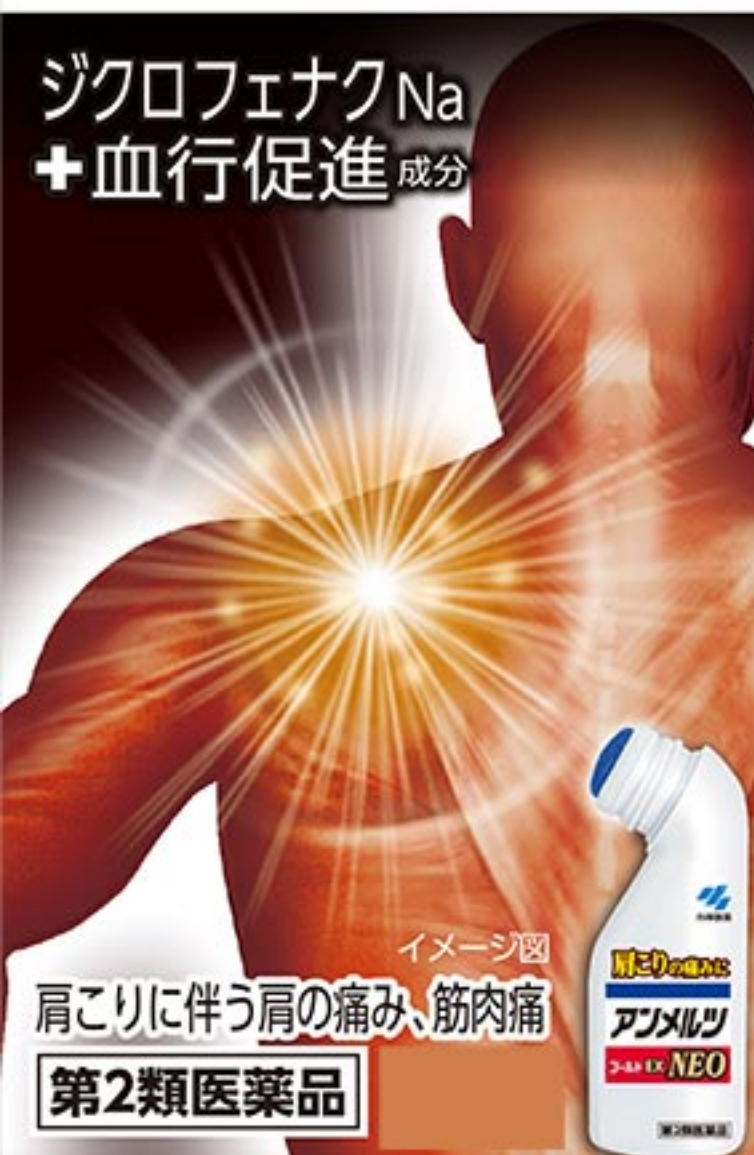


無臭性

小林製薬

肩こりの痛みに

アンメルツ
ゴールドEX NEOジクロフェナクNa
+ 血行促進成分

イメージ図

肩こりに伴う肩の痛み、筋肉痛

第2類医薬品



【成分・分量】100g 中

ジクロフェナクナトリウム 1g
L-メントール 5g
トコフェロール酢酸エステル 100mg
ノナン酸パニリルアミド 12mg
ニコチン酸ベンジルエステル 10mg
添加物として、グリチルレチン酸、
ミリスチン酸イソプロピル、プロ
ピレングリコール、ジプロピレング
リコール、乳酸、エタノールを含む

【用法・用量】

1日3～4回、適量を患部に塗布する。ただし、塗布部位をラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わない。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しない

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守する
 - (2) 本剤は、痛みやはれ等の原因となっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤なので、症状がある場合だけ使用する
 - (3) 本剤は外用にのみ使用し、内服しない
 - (4) 1週間あたり50gを超えて使用しない
 - (5) 目に入らないように注意する。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗う。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受ける
 - (6) 使用部位に他の外用剤を併用しない
 - (7) 通気性の悪いもの(ラップフィルム、矯正ベルト等)で使用部位を覆い、密封状態にしない
- 皮膚の特に弱い方は、同じ所に続けて使用しない
- スポーツや入浴等、汗をかく前・後に使用した場合、ヒリヒリとした刺激、痛みや熱感が増すことがあります。これらの症状が強い場合は、石けんで洗い流すと緩和します

使用に際して、この説明書きを必ず読むこと。また必要なきに読めるよう大切に保管すること

【効能・効果】

肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所(冷暗所)にキャップをしっかりとめて箱に入れて立てて保管する
 - (2) 火気に近づけない
 - (3) 小児の手の届かない所に保管する
 - (4) 他の容器に入れ替えない(誤用の原因になったり品質が変わる)
 - (5) 使用期限をすぎた製品は使用しない。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用する
- キャップをしっかりとめない
と液がもれることがある
- 衣類に付着した場合には、各衣類の洗濯表示に従って、すみやかに洗う

製品のお問合せは、お買い求めのお店
又はお客様相談室にお問い合わせください

「あったらいいな」をカタチにする

発売元 小林製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10

小林製薬 お客様相談室

0120-5884-01
9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

製造販売元 小林製薬株式会社
〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3

税 控除 対象

火気厳禁 第一石油類 危険等級Ⅱ
エタノール含有物

MADE IN JAPAN

押して
開ける第2類
医薬品外用鎮痛
消炎剤販売名:
アンメルツ
ゴールドEX NEOExternal Anti-Inflammatory
/ Analgesic

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は使用しない (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 (2) ぜんそくを起こしたことがある人 (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人 (4) 15才未満の小児
2. 次の部位には使用しない (1) 目の周囲、粘膜等 (2) 皮膚の弱い部位(顔、頭、わきの下等) (3) 湿疹、かぶれ、傷口 (4) みずむし・たむし等又は化膿している患部
3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎剤を使用しない
4. 長期連用しない



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談する (1) 医師の治療を受けている人 (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 (3) 次の医薬品の投与を受けている人：ニューキノロン系抗菌剤
2. 使用中又は使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談する

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮膚のあれ、落屑(フケ、アカのような皮ふのはがれ)、水疱、色素沈着

まれに下記の重篤な症状が起こることがある
その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる
接触皮膚炎、光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身にひろがることある。また、日光があたった部位に症状があらわれたり、悪化することある

3. 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談する

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

10184345